

京都府営水道 水安全計画

～概要版～

水安全計画の策定

策定の趣旨

京都府では、概ね10年後（H34）を見通した府営水道の取組の方向性を示す「**京都府営水道ビジョン（H25.3）**」を策定し、安心・安全な給水体制の確保を目指しており、その対策として水道水の安全管理の強化を掲げています。

府営水道では、将来にわたって受水市町に安心・安全な水道水を安定的に届けるため、**水道水の信頼性を一層高める品質管理の強化に取り組む**こととし、「**水安全計画**」を策定しました。

水安全計画とは

食品の衛生管理手法（HACCP（ハサップ））の考え方を導入し、水源から給水栓（分水点※）に至る各段階で発生しうる危害を予め分析し、その結果に基づいて、必要な対策を実施することにより、**水道水の安全性を確保するシステム**です。

※分水点：受水市町に水道水を受け渡す場所

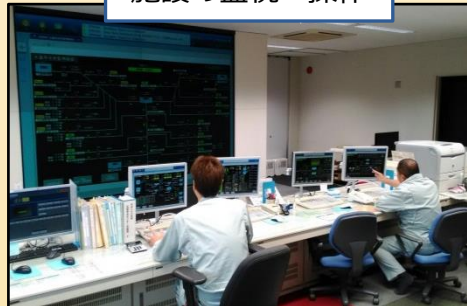
基本方針

府営水道が持つ**トリプルスリー（3川・3浄水場・3Q水運用）**を活用し、**水源から分水点までの一体的な水道水の品質管理**（水源・浄水・送水管理、水質管理等）に取り組むことで、常に信頼性の高い水道水の供給を目指します。

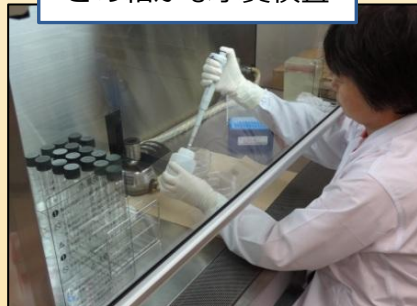
水源での水質調査



施設の監視・操作



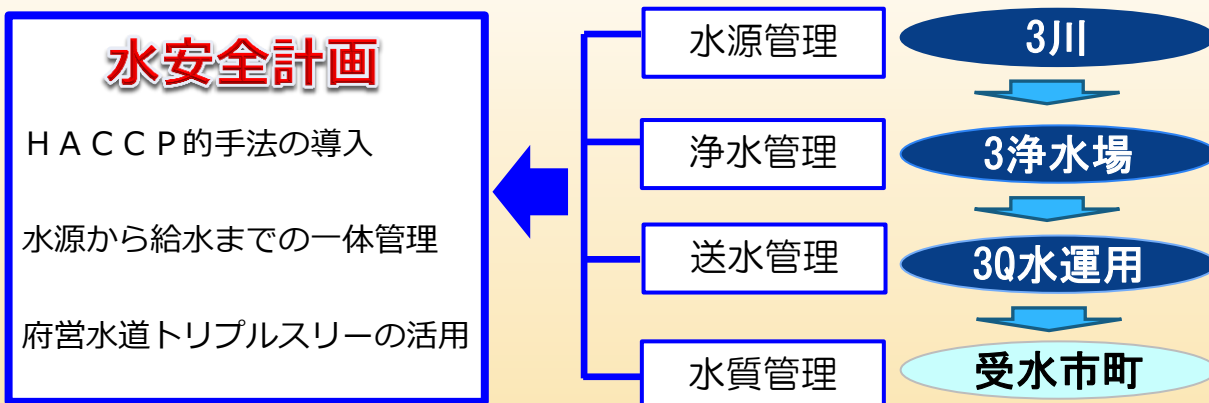
きめ細かな水質検査



平成28年12月
京都府営水道

水安全計画の位置付け

常に信頼性の高い水道水を供給し続けるためのシステム



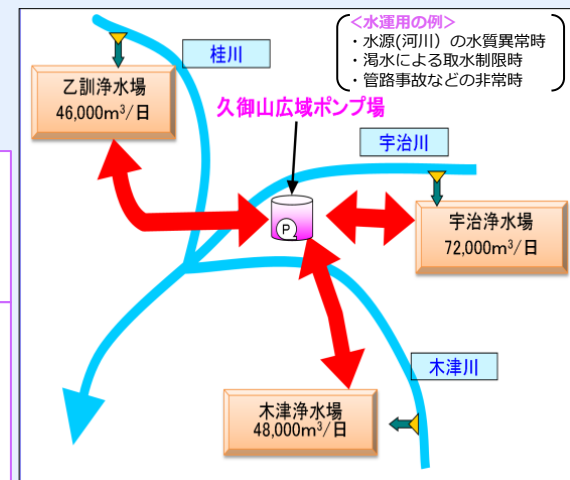
府営水道が持つトリプルスリー

宇治川・木津川・桂川（**3川**）から取水した水を、それぞれ宇治・木津・乙訓浄水場（**3浄水場**）で浄水処理を行い、3浄水場の送水管路を久御山広域ポンプ場を中心に接続し3浄水場間で水道水を相互融通（**3Q（サンキュー）水運用**）しながら、受水市町に水道水を供給しています。

この府営水道の特徴（**トリプルスリー**）を活用し、ライフラインの安心・安全を支えています。

府営水道の特徴（トリプルスリー）

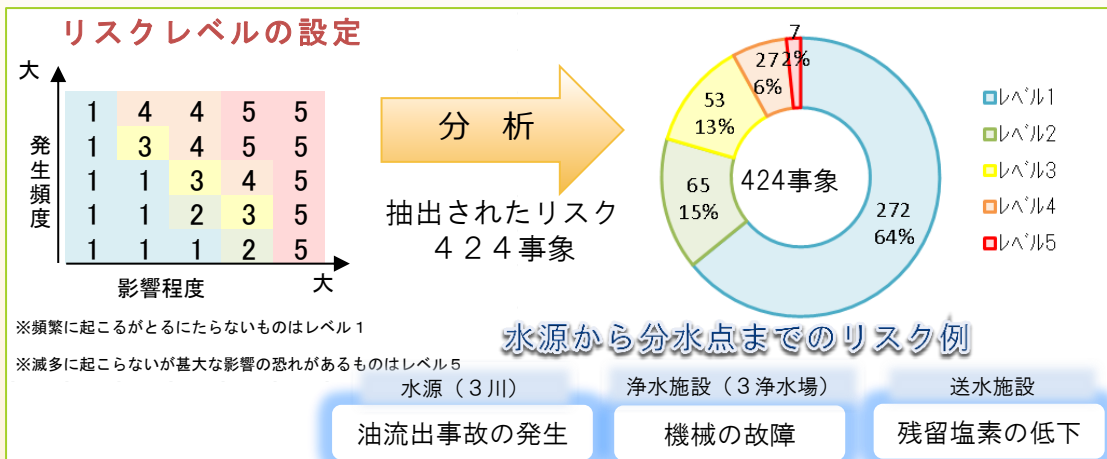
3川	河川で発生する危害（リスク）を分散
3浄水場	運転方法等において工夫を重ねながら、3川の水质に応じた浄水処理を適切に実施
3Q水運用	水運用において 安定した水质を確保（Quality） し、全施設一体となって水融通を行い 水量を確保（Quantity） するとともに、非常時の水運用に 速やかに移行できる体制を構築（Quick response） し、受水市町へ安定的に水道水を供給 Quality（質）、Quantity（量）、Quick response（迅速）



水安全計画の内容

1 危害（リスク）の分析

水源から分水点までの水道システムに存在する潜在的なリスクを抽出し、発生頻度や影響程度に基づき、**さまざまなリスクを5段階のリスクレベルで分析**しました。



2 危害（リスク）に対する管理・対応方法

抽出したリスクに対する現状の管理措置（未然防止・軽減方法等）及び監視方法（観測・測定等）を評価し、それを踏まえ、**管理措置、監視方法及び管理基準*を見直す**とともに、**対応マニュアルに反映**しました。 *管理基準：管理措置が機能しているかどうかを判断するために、監視の結果を評価するための基準

水源から分水点までの管理・監視例



3 継続的な検証とレビュー

水安全計画が定めたとおりに運用され、常に安全な水を供給できていたかどうかを**年1回検証（チェック）**します。

さらに、PDCAサイクルの考えに基づき、**レビュー（アクション）**を行うこととし、水安全計画が十分なものになっているかを確認し、必要に応じて改善を行います。

水安全計画の策定・運用



水安全計画の効果

1 安全性の向上

府営水道では、水質管理業務の重要性に鑑み、適切に検査機器を整備し充実した自己検査体制を確立させ、きめ細かな水質検査を実施するとともに、河川水質に応じた適切な浄水処理を行うなど、安全で良質な水道水を確保しています。

これらの取組に加えて、水源から分水点までの水道水の安全性に影響を及ぼす様々なリスク（水質汚染事故・機器故障など）を的確に把握し必要な対応をとることにより、**リスクが低減され安全性が向上**します。

2 維持管理の向上・効率化

リスク分析を行う中で、水道システム内に存在するリスクを引き起こす事象が明確となり、リスクを軽減するために対応する維持管理方法等を具体化することにより、**維持管理水準の向上や効率化**が図られます。



3 技術の継承・技術レベルの向上

府営水道事業に従事する職員、特に技術職にあつては、長年にわたり培われてきた技術力が退職により、失われることの無いよう、次世代に引き継ぐことが必要です。

潜在的リスクとそれに対応する水質監視、施設管理、運転制御等に関する技術的な内容について、水源から送水までを一元的に整理し、リスクの対応方法をマニュアル化することにより、**技術の継承と技術レベルの向上**が図られます。



【お問い合わせ先】

京都府営水道事務所 総務企画課

〒611-0021 宇治市宇治下居64

電話 0774-24-1522

メール kyosui-somu@pref.kyoto.lg.jp